

市制施行40周年

広報



第543号

あくね

阿久根特産
あくね
うまいね
自然だね



(市観光協会が阿久根大島のシカにエサをプレゼント)

平成4年
4月号

「首をながーくして

待ってたヨ」

施政方針



平成四年第一回定例市議会が三月五日に開会され、新柄勝記市長が平成四年度の施政方針を発表しました。

この中で新柄市長は「誠実でぬくもりのある市政の運営を信条として、豊かな活力ある阿久根をつくる」ことを基本理念に努力を重ねて参りました。今年、市政施行四十周年という節目を迎え、更なる市勢の発展と市民の福祉向上のため諸施策を積極的に推進して参ります」と、力強く述べました。

その施政方針の主旨を紹介いたします。

市制施行40周年

21世紀へ向け飛躍の年に

平成四年第一回定例市議会の開会に当たり、市政に対する所信を申し述べ、議会並びに市民皆様の一層の御理解をいただき、市政推進に御協力を賜りたいと存じます。

私は昭和六十三年九月市長に就任以来、「誠実でぬくもりのある市政の運営」を信条として、「豊かな活力ある阿久根をつくる」ことを基本理念にこの三年有余懸命の努力を重ねて参りました。幸い市議会をはじめ、市民の皆様のご温かい御理解と積極的な御支援、御協力に支えられ市政は着実に、しかも順調に進展を続けていくものと確信し、ここに皆様方に深く感謝申し上げます。

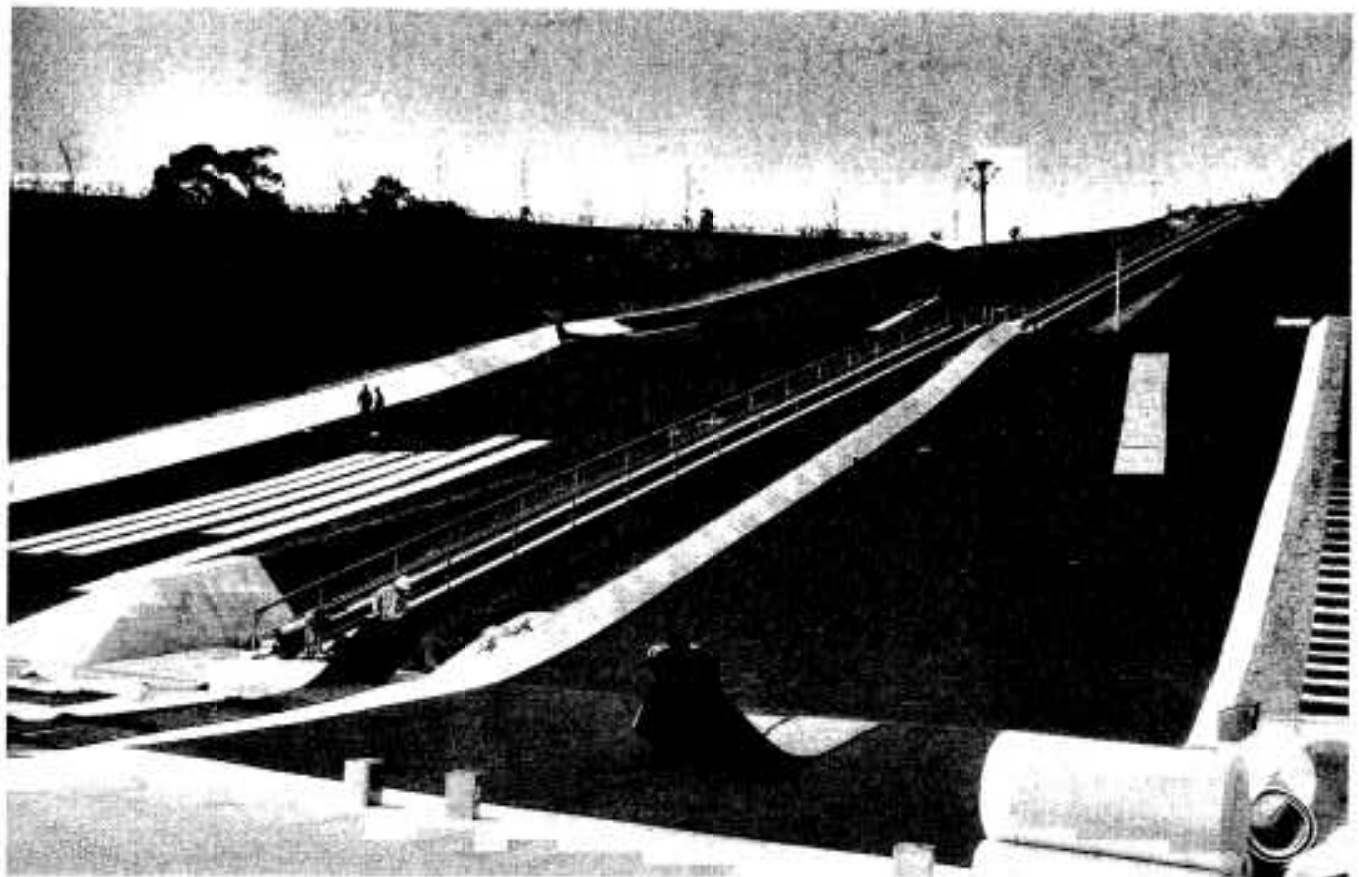
平成四年度は阿久根市にとりまして市制施行四十周年という誠に意義ある年を迎えることとなりますが、長い阿久根の歴史の中の大きな節目として、長年にわたる先達の努力に心から感謝の誠を捧げるとともに、更なる市勢発展と二十一世紀への希望をこめた広く市民の共感を得られる各種の記念事業を実施し、喜びを分かち合い阿久根市勢の飛躍の起爆剤にして参りたいと計画を樹てたところであります。

特にまた、私の任期の最終の年度に当たり、その仕上げの年

として、これまでの実績を土台に市民皆様方の意見要望を大事に受けとめ、初心を忘れることなく阿久根市の浮揚発展と市民福祉の向上を更に充実すべく旺盛な意欲をもって積極的に推進して参る覚悟でございます。

私は市長就任以来、阿久根市民が郷土を愛し郷土に誇りを持ち新しい活力に満ちた住みよいまちづくりのために、明日の阿久根を担い行動し真に汗する事を誇りにする市民の力に期待しその燃え立つエネルギーを結集し、わがまち興しに市民総参加の実現を目ざして行政を推進して参りました。

今、二十一世紀を間近に控えた阿久根市の将来像をどう捉えその実現に向けどのような振興策を推進すべきかを明らかにするため、その基本として「第三次阿久根市総合開発計画」と「阿久根市過疎活性化計画」を策定し、「豊かな活力ある阿久根をつくる」ことを行政の基本理念とし、産業の振興、福祉の充実、環境の整備、観光開発、教育文化の振興等地區中心城市としての条件整備へ向けて阿久根市の総合力を発揮すべき最も大事な時であるとの認識に立ち、市民の先頭に立って、わかりやすい目に見えた政策の展開に力点



夏休み前の供用開始をめざし、着々と整備が進められる番所丘公園人工スキー場

を置き、今日阿久根市がおかれ
ている現実を直視し、みんなで
力を合わせてこの恵まれた美し
い自然と歴史を大切にしながら
阿久根市発展のために一丸とな
って取り組まなければならぬ

と決意も新たにいたしております。

これらのことを中心に本市の
当面する重要課題とその推進に
ついて申しあげます。

青少年の海外派遣を実施 丹宗律光画集を復刻

初めにふるさと創生事業につ
きましては、今日まで市民の意
見の多い中で時間をかけ検討を
加えて参りましたが、計画をい
たして参ります。「アクネ、うま
いネ、自然だネセンター」の建
設に向けて実施計画に着手し、

ることといたしております。

文化会館建設につきましても、
市民の要望も強くその必要性に
ついては充分認識していること
であり、先ず用地を確保する
ことといたしました。

「人材育成事業」は市制四十周
年を契機に国際性豊かな青少年
の育成を目ざして海外派遣事業
を実施し、わが阿久根の素晴ら
しい子供達に夢をもたせるため
将来へ向かってその第一歩を踏
み出すべく、その事業推進のた
め「人材育成基金」を創設する
ことといたしました。

次に道路網の整備であります
が、その第一は空港、鹿児島へ
のアクセスとして阿久根東郷線
の早期完成であります。

また、郷土の誇りとする丹宗
律光画伯の集大成ともいえる貴
重な画集十二巻を昭和六十三年
十二月丹宗家から御寄贈いただ
き、図書館で大事な文化遺産と
して保存しておりますがこれを
広く市民に紹介するため復刻す

このことにつきましては、県、
国へ対しまして私の全てをかけ
るおもいで行動を展開して参り
ましたが、お蔭をもちまして平
成三年度から本格道路改良事業
に着手していただき、更に平成
四年度から地方特定道路整備事
業等による大巾な事業促進が見
込まれております。幸いにして
昨年鶴川内地区を中心とする関
係者をもって建設促進協力が
発足し、既に用地交渉等積極的
な連絡調整のための協力をいた

だいでいるところでありますが、
今後更に事業促進を図るため議
会並びに広く市民の御理解と御
協力をいただき、積極的な運動
を展開して参りたいと考えてお
りますので何卒よろしくお願
い申し上げます。

南九州西回り自動車道路は、
昨年十二月芦北出水間が基本
計画区間に組み入れられたこと
であります。今後残された区
間について一日も早く計画決定
されるよう強力な運動の展開を
計画いたしております。

併せて三県架橋についても相
協力し、県境を越えた取り組み
体制の強化に努力して参ります。
また、JR鹿児島本線につ
きましては、将来的には第三セク
ターによる運営によって、地域
住民の足を確保するという基本
方針であります。その間の整
備につきましては阿久根市民の
生活路線として、また、大量輸
送の重要性をもつものであり、
輸送体制等住民へのサービスが
低下することがないよう強く改
善を求めて参ります。

野母崎航路につきましては、
昨年六月不定期ではあります
が航路が認可されたところであ
り今後相互交流により効果的な活
用が図られるよう努力いたしま
す。



本年度、復刻されることとなった丹宗律光画集。四季折々の草花などが繊細なタッチで描かれています。

「美しいむらづくり事業」により 阿久根漁港の施設整備を推進

次に企業誘致につきましては、男性雇用型の企業誘致を実現すべく努力いたしました。昨年五月知事立会いの下に鹿児島金属株式会社と立地協定を締結し、工場建設が進められておりましたが、第一期工事が四月中旬完成し操業開始の予定と承っております。

企業の立地により若者が定着し、まちが活性化することに期待がかけられ、地場企業も含めた条件整備に積極的な対策を講じて参ります。

ゴルフ場建設につきましては、今日まで議員の皆様のご協力をいただき地権者の理解を得るため努力をいたして参りましたが、現況はまことに厳しく今後の推移が危惧される所であり、引き続き地元対策を進めて参ります。

次に新規事業として「美しいむらづくり特別対策事業」について申し上げます。

この事業は、わが国の経済社会の成熟化に対応して、漁村においても、豊かで潤いのある生活環境の整備を進めるため、全

国梓十箇所のモデル地区を選定していたものであり、昨年からの採択に向けて懸命の努力を続けておりましたが、幸い県の温かい御理解と御援助をいただき本市もその中に決定していただきました。

対象地域は阿久根漁港とされ、今回の美しいむらづくり特別対

農林業振興センターの有効利用で 本市農産物のブランド化を

次に主な施策とその概要について申し上げます。

まず、産業の振興から申し上げます。農業の振興につきましては、米の輸入自由化を求める日米農業交渉をはじめ国際的にも課題が多く、農業をとりまく

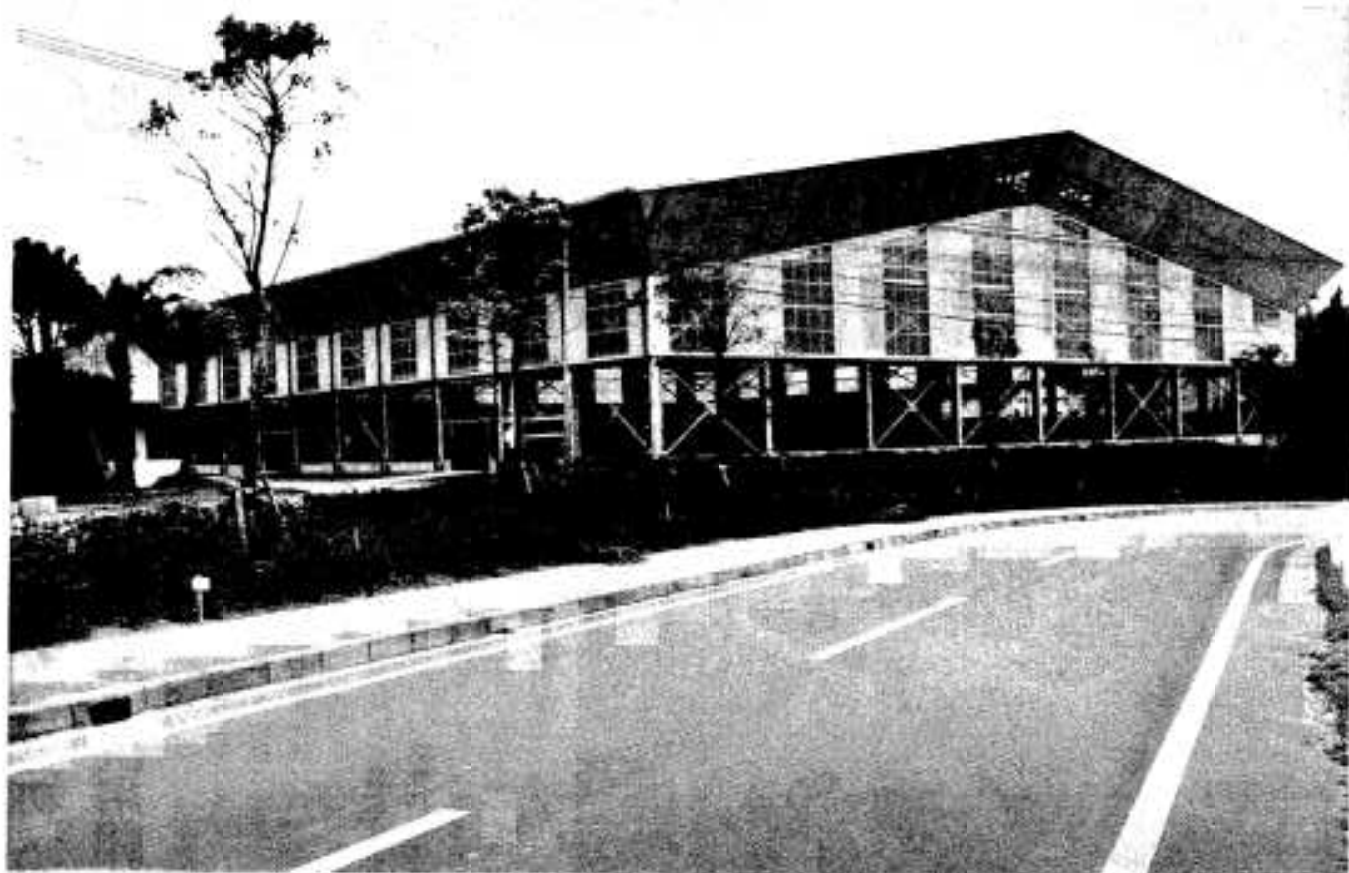
環境はまことに厳しい状況に置かれておられると言わざるを得ませんが、地域の特性を生かした農業、中核農家の育成、農地の高度利用と基盤整備の促進等農業振興の中心課題に向けて更に努力して参ります。

策事業の中で修業事業、環境整備事業、沿構事業により景観や親水性に配慮した旅客船発着の棧橋や周辺水域の浄化を図る施設及びメインとして「アクネ、うまいね、自然だネセンター」の建設及び漁港区域の阿久根大島の野営場等臨海休養施設の整備など、海に活路を見出すのがまちにとって、海とのふれあいがより一層広められ、各種イベント等が更に充実し、活性化に資することが大きいと期待される事業であります。

土地基盤整備等地元負担につきましては、引き続き軽減策を講じ、農家自らも足腰の強い経営体質に脱皮できる自助努力を重ね、合理化が図られるよう相協力して取り組んで参ります。

そのためには、農協等関係団体との連携を図りながら、農林業振興センターの有効利用を図り、花卉類の増養殖の促進とひらたけ栽培の普及、土づくり運動の展開等本市農産物のブランド化に努めて参ります。

畜産につきましては、牛肉の



総合運動公園に完成した 多目的雨天屋内運動場。天候に左右されずトレーニング等が可能になりました。

輸入自由化等国際競争の中で生き残りをかけた努力が求められておりますが、これら自由化に対応できる畜産農家を育成するため、地域畜産活性化事業の推進による肉質向上対策や、素畜導入資金貸付等による生産コストの低減と経営の安定対策を進めて参ります。

林業につきましては、林家の経営はもちろんのこと自然環境の保全、水源涵養林の育成等森林がもつ多面的機能に鑑み極めて重要でありますので森林資源の造成確保を図るため、林道、作業道、急坂舗装の整備を進め

るほか、竹林改良事業等による優良竹材の生産と筒の生産振興に努めて参ります。

また、広域合併後の農協の運営につきましては、更に連携を密にし、農協と共にある農業振興策を推進し、森林組合の組織再編についてもその目的を尊重し、協力して参ります。

国土調査事業につきましては、本年度大字山下の一部弓野地区三・一平方キロメートルを実施して参りますが、全体の進捗率は七一・七パーセントになります。

消費生活相談員制度を新設 阿久根大島の総合的整備を推進

水産業について申し上げます。本市の基幹産業の一つである水産業は、近年生産コストの高騰、労働力の高齢化等たいへん厳しい環境にあります。

漁業協同組合の理解と協力で引き続き各種魚種の投入、増殖造成事業の推進と併せ栽培センターの機能を十分に活用し、「獲る漁業から作り育てる漁業」を一層推進し、漁業基地としての漁港、港湾の整備充実を図ると共に、

阿久根大島の海岸環境整備に力を注いで参ります。

商工振興につきましては、平成三年度において実施された広域商業診断の結果も検討し、今後商工会議所等関係団体との連携を図りながら、商店街の今後のあるべき方策を見出し、併せて商工業全体の活性化対策を進めて参ります。

また、特産品の開発振興については、引き続き西友との業務提携を推進し、販路拡大を図るとともに地場産品の開発に努めて参ります。

更に近年発生している消費生活問題に対処するため、消費生活相談員制度を設け消費者の苦情相談等消費生活行政を推進して参ります。

観光につきましては、先に策定しましたウォーターフロント開発計画を基に、大島公園の総合的な整備を進めるため基本設計の委託を行うほか、本年度は海の家二棟の建築等施設の整備を行い、施設の管理については引き続き市観光協会に委託します。



「美しい村づくり事業」が適用される阿久根漁港

パターゴルフ場を新設 人工スキー場は夏休み前に供用開始

土木事業関係について申しあげます。

道路整備は、産業、経済、文化活動の活性化と快適で文化的な市民生活の向上を図る最も重要な課題であり、住民の要望が最も強い事業でありますので引き続き各種事業を導出し整備充実を図り、併せて交通安全施設

の整備も進めて参ります。

さらに市民皆様のボランティアによる道路清掃につきましては謝金の増額を計上し、平成三年度で失業対策事業が終了することに伴い、道路維持作業班の充実を図るため今年度さらに二名を増加し、計七名により市道の清掃維持管理を強化して参り



大規模な区画整理が進められる濁地区

ます。

都市計画では、濁土地地区整理事業が順調に進んでおり、本年度は宅地造成、道路整備、建物の移転等のほか、小規模河川改修事業に係る橋台の設置、濁都市下水路の新設と引き続き市営住宅も建設いたします。

進めて参りますが、人工スキー場、ローリースケート場、遊具コーナー等は、本年の夏休み前までには供用開始をいたします。なお、本年度事業として南部取付道の整備、パターゴルフ場の新設及び植栽工事等を実施し、市民の憩いと安らぎの場として整備を進めて参ります。

ゴミ袋の統一でゴミの減量化を 在宅ねたきり等介護手当を増額

民生関係について申しあげます。

市民の保健対策として引き続き国の保健事業第三次計画に基づいて各種事業を実施するとともに、新規事業として市民の健康管理システムを導入し充実して参ります。

また、生活環境面ではゴミの減量対策として生ゴミ処理器購入補助事業を継続するとともに、新たに焼却炉の設置補助並びにゴミ袋の統一化を導入し、市民の便益処理に対する意識の高揚を図り環境美化に取り組んで参ります。

福祉では、社会福祉協議会を初めとする各種団体との連携を図りながら、きめ細かな福祉施

策を推進して参ります。

特に本格的な長寿社会の到来を迎え本市においても高齢化対策は最重要課題であり、高齢社会に対応した生き甲斐対策、生涯学習、施設ケア、在宅ケア等の充実を図るとともに働くことを通じて社会参加と生き甲斐を求める「シルバー人材センター」事業の促進と、在宅福祉の向上のため「デイサービス」事業等引き続き推進して参ります。

また、ふるさと創生の福祉版として、地域福祉基金の果実により「在宅ねたきり等介護手当」の増額と在宅の障害を持つ児童とその保護者に対して施設等と協力して「療育のための遊び親子教室」を行います。



7月からゴミ袋が統一されます

更には、給食サービス、ホームヘルパーの増員、紙オムツの支給枠拡大のほか、本年度から保育料の軽減措置を講じ、保護者負担の軽減を図るなど心の通ったきめ細かな福祉対策を進めて参ります。

消防についてであります。住民の生活環境や交通環境等の充実に伴い、災害も複雑多様化する中で、消防組織の強化とともに機動力の強化と消防団員の確保は重要な課題であり、中でも若者のサラリーマン化等により団員の確保はむずかしい現状であります。

これらに対処するため署員の増強を図るとともに団員の待遇改善を行い地域にあった団員確保に努めて参ります。一方消防機器等の整備につい



山下及び折口分団に新消防車を配備

ては、三笠、黒之浜分団の小型動力ポンプ付き積載車二台の購入とともに、雨量計三箇所と風

速計一箇所を設置して防災に努めて参ります。

単人小學校にプール建設 學校トイレの水洗化を実施

次に教育について申しあげます。

「まちづくりの基盤は人づくり」という基本理念のもとに、

「二十一世紀を拓き、国際社会に生きる豊かな人間性と創造性をもった、逞しい市民の育成」を旨とし知性と健康に満ちた教育文化のまち阿久根の創造に向けて特段の努力をして参ります。先ず、学校教育におきましては、本年度から完全実施される

新学習指導要領に基づいた学習指導が円滑に進められるよう教育環境や条件整備を図って参ります。

主な事業として三笠中学校の校舎改築、単人小學校のプール建設、折多小學校の運動場整備、三笠中学校外三校へのパソコン

の設置を始め、永年の懸案でありました學校トイレの水洗化に向けて本年度から計画的に実施し學校施設の質的充実に努力して参ります。

また、各學校と教育委員会事務局を結ぶフアタキシミリネットワークを新設することといたしました。

社会教育では、生涯学習社会に対応するための中核となるカルチャーランドの基本構想のもとに、市民の学習ニーズに応える条件整備をすすめ、「生き甲斐づくり」と「地域づくり」に努力いたします。

総合体育館の実施設計に着手 電算による印鑑証明システム導入

社会体育におきましては、市民の健康づくりとスポーツ振興のために、総合体育館の実施設計を行い、体育施設の充実、活用を図ると共に、体育協会を始めとするスポーツ関係団体の活動の活性化と、その協力によるスポーツイベントの定着と充実に取り組み、まちの活性化に努めて参ります。

水道行政についてであります

が、近年企業の進出、生活様式の向上等で水需要の増加が予想されますが、本年度事業としては、湖土地地区画整理事業に伴う配管布設事業、水資源開発調査ボーリング、第五次拡張計画事業に取り組みで参ります。

食肉センターについては、施設の整備が必要とされるところであり、食肉センター建設FS調査の結果を十分検討のうえ、



危険校舎改築が行われる三笠中学校

整備計画を策定し施設の充実に努力して参ります。

国民宿舎についてはであります。これまで積極的な施設設備の改善を行い経営努力を重ねて参りました結果、お蔭をもちまして昭和六十三年度当初二、〇五〇万円計上した累積赤字も平成三年度で全部解消できる見込みであります。

今後、細かい施設設備の整備充実を図ると共に、利用者のニーズの把握とサービスの向上に一層の努力をして参ります。最後に事務改善について申し上げます。

電算システムにつきましては、財務会計システム及び備品管理システムの導入に続き、本年四月から電算による印鑑証明システムを導入すると共に各課等の

事務の見直し等事務改善を進め、住民サービスに努めて参ります。また、都市公園等阿久根市が設置する施設も増加し、その公有施設の適正かつ有効な管理運営について検討を進めた結果、法人による管理システムに移行すべく結論を得たので本年度中に、法人設立等具体的に取り組みで参ります。

市民総参加で 豊かな活力ある 郷土の建設を

以上施政の方針につきまして所信を申しあげましたが、これらの施策の実現に向けて市長以下職員が一体となって住民の負託に応え、市勢の発展のため地方自治の本旨を全うすべく最大の努力をいたす所存でございます。何卒議会を始め、市民皆様の御理解をいただき、積極的な御協力を賜りますようお願い申し上げます。あげ私の施政の方針といたします。

平成4年第1回定例市議会

人材育成基金条例など制定

一般会計当初予算は百十八億三千万円

平成四年第一回定例市議会は三月五日から二十六日までの二十二日間の会期で開かれ、人材育成基金条例制定案など議案三十六件、認定一件を原案どおり可決しました。

この中で、四年度の一般会計当初予算は前年度より十二・六割伸びて、百十八億三千百七十七千円を計上しました。可決された主な議案等と一般会計予算の主な内容は次のとおりです。

- ▼市道路線の認定について
波留の平和団地線及び食肉加工団地内の二つの路線の計三路線を新たに市道に認定した。
- ▼阿久根市印鑑条例の一部改正
印鑑登録証明事務の電算化に伴い、条例の一部を改正した。
- ▼阿久根市人材育成基金条例の制定について
市制四十周年を契機に市内に居住する中学生、高校生及び一般市民の国際感覚豊かな人づくりを推進するとともに、地域の活性化と「豊かな活力ある阿久根を創る」有能な人材を育成するため本条例を制定した。
- ▼阿久根市国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険被保険者の出生

に係る助産費の支給額を、現行の十三万円から四月一日より二十四万円へ増額するため、条例の一部を改正した。

▼阿久根市消防団員の定員、任免、給与、職務等に関する条例の一部改正

阿久根市消防団員の報酬及び費用弁償の額を引き上げたもの。例えば、分団長の年額報酬を五万三千円から五万八千円に、団員は二万五千円から三万円に。

▼阿久根市国民宿舎条例の一部改正

国民宿舎の改修工事に伴い、宿泊料金等の見直しを行ったもの。これにより大人は一泊二食付きで六千七百七十円、小学校児童は五千三百七十円へ、特別室（バス付）は八百円を加算。

▼阿久根市都市公園条例の一部改正
阿久根総合運動公園に多目的雨天屋内運動場を設置し、その使用料等を定めたもの。

▼阿久根市奨学金貸付基金条例



市営住宅「鶴見タウン」B・C棟が完成。4月から入居が始まりました。

の制定について
奨学金の貸付けに関する事務を円滑かつ効率的に行うため、本基金を設置するとともに奨学金の額を改め、条例の整備を図ったもの。

▼阿久根市老人介護手当支給条例の一部改正
在宅ねたきり老人等の介護手当の額を、現行の二万円から三万六千円へ増額するため条例の一部を改正した。

五千四百円以内 大学→三万三千百円以内

平成4年度 一般会計予算の主な事業内容

(単位：千円)

(単位：千円)

区 分	内 容 と 金 額	
住 民 の 健 康 対 策	健康管理システム導入事業	5,786
	健康指導及び診察検診事業 (健康審査ほか)	91,130
	救急医療対策事業 (在宅当番医師ほか)	10,690
高 齢 者 対 策 事 業	デイサービス事業 (運営業務委託)	18,670
	高齢者労働能力活用事業 (シルバー人材センター)	26,850
	地域福祉対策事業費 (介護手当、給食サービス、地域教育の ための遊び親子教室)	7,654
	在宅おたきり老人対策事業 (巡回入浴委託、紙オムツ給付、短期保護)	9,116
	敬老年金支給事業	5,610
	高齢者就業機会開発事業 (失対引退者への業務委託)	12,983
環 境 整 備 事 業	ごみ袋統一化無料ごみ袋配付	3,280
	生ごみ処理器購入補助 (生ごみ処理器及び水きり専用バケツ)	1,650
	焼却炉購入補助	3,750
農 林 業 振 興 対 策 事 業	農業構造改善事業 (農業農村活性化農業構造改善事業ほか)	176,880
	農村総合整備モデル事業 (農道及び集落排水等整備)	116,504
	農道及び作業道急坂舗装事業	44,089
	林道整備事業 (廣首線、林道阿久根中央線急坂部、 八郷笠山線ほか)	30,758
	農林業振興センター費 (農業栽培関係運営及び種苗研究運営費)	33,617
	県営事業負担金 (広域農道整備事業ほか)	52,669
	団体営農道整備事業 (山下男場、大田前、観野、下森地区)	33,160
	国土調査事業 (3.1ha)	62,029
	良質竹材生産団地育成事業	4,320
	地域森林環境整備事業	13,098
	土づくり推進事業 (展示は委託17ヶ所、深耕352)	2,082
ほ場整備地元負担軽減補助金 (給本中央区)	10,000	
水 産 業 振 興 対 策 事 業	漁港整備事業 (船本港、阿久根港、関六浦港、大川港、 折口川港)	197,096
	港湾整備事業 (黒之浜港)	62,880
	魚礁設置及び養いそ設置事業 (地先型増殖場造成事業ほか)	22,075
	水産動物種苗生産費 (アカウニ、アワビ、ヒラメ、ガゼミ)	28,706
	広域栽培パイロット事業 (ヒラメ中間育成用施設工事)	29,349
	美しい村づくり特別対策事業費 (調査費)	2,000

区 分	内 容 と 金 額		
商 工 観 光 振 興 対 策 事 業	大島公園施設整備事業 (大島公園整備事業基本設計委託、 大島公園海の家新築工事2棟)	68,000	
	特産品開発及び新製品開発委託 番所丘公園整備事業 (バターゴルフ場、舗装、南部道路舗装、 中央管理センター設計委託ほか)	5,000 162,277	
道 路 整 備 事 業	道路台帳整備作成委託事業	76,700	
	河川改修事業 (五色浜川ほか)	29,100	
	市道清掃委託事業 (委託延長 53,538m)	17,000	
	市道新設改良事業ほか (山仁田灯台線ほか)	496,500	
	交通安全施設整備事業 (ロードミラー、ガードレール設置)	5,633	
都 市 計 画 及 び 住 宅 対 策 事 業	土地区画整理事業 (湯地区土地区画整理)	1,015,761	
	都市下水路事業 (湯地区排水路整備)	67,267	
	市営住宅建設事業 (3新築 2棟 24戸)	350,025	
消 防 施 設 整 備 事 業	小型動力ポンプ積載車ほか購入 (積載車2台)	5,880	
教 育 施 設 等 整 備 事 業	文化的施設用地購入費	148,860	
	パソコン購入 (小学校 41台 中学校 21台)	39,000	
	単人小学校プール新設事業ほか (三笠中学校舎改築、単人小プール新設、 折多小運動場整備)	183,770	
	フェクシミリ設置 総合体育館建設事業	1,896 40,000	
そ の 他	市制施行40周年記念事業 (記念式典、ハンヤ節おどり大会、 自衛隊ヘリコプター搭載護衛艦 招致事業、模擬市議会、少年少 女弁論大会、写真展、学校記念 植樹、市民文化講演会、県秀作 美術展、ボンタンロードレース 大会、市民運動会、総合文化祭)	23,673	
	ふるさと創生事業 (アツキうまいネ自然だネセンター 実施設計委託、中学生海外派遣事 業、人材育成事業、丹奈津光顕集 出版事業)	220,581	
	高速交通対策推進費	3,694	
	斎場建設事業推進費	1,454	
	新総合情報通信システム整備事業	11,327	
	50歳組歓迎レセプション事業	1,046	
	外国青年招致事業	6,040	

失業対策事業が終了

戦後、本市発展の礎を築く

阿久根市失業対策事業が三月三十一日をもって終了し、過去四十三年間、各種の公共事業の推進に大きな役割りを果たしてきた本事業の歴史に終止符が打たれました。

終戦後、国内には大量の失業者が発生し、これに対処するた

め昭和二十四年五月「緊急失業対策法」が制定されました。これを受けて同年、本市(当時阿久根町)では県内で最も早く失業対策事業を実施。戦争で夫を亡くした婦女子らを主とする失業者の雇用を図るとともに、産業振興に不可欠な道路の新設、



パーティーには事業に携った方々が一堂に会しました

水道工事、学校、公園、墓地の整備など、本市復興の原動力となり、今日の発展の礎を築きました。

その後、国内経済の変化とともに、事業の制度改定が進められ、就労者の自立とともに事業規模の縮小と収束が図られ、一時は二百四十三名にも登った就労者も昨年度は六名を数えるだけになっていまし

2カ所で構造改善センターが完成

— 梶之浦東・深田 —

三月七日、国民宿舎あくねで行われた事業収束記念パーティーには、関係者ら約百十人が出席。新伊勢市長が「阿久根に残る事業が皆さんの手によりつくられたことに敬意を表します」と挨拶すると、就労者を代表して神之田勝美さんが「昔は人力

に頼る工事が多く大変だったが今思い出すと懐かしい。皆さんの支えがあつてここまでやって来れた」と昔を振り返りながら感謝の言葉を述べました。

本事業の終了に伴い市では今後、道路維持作業班の充実を図りつつ、市道の清掃維持管理を強化していく考えです。



梶之浦東構造改善センター

梶之浦東区と深田区で建設が進められていた構造改善センターがこの程完成し、区民らが集り落成式が行われました。

梶之浦東構造改善センターは、昨年十月に着工、面積百五十四平方メートルで事業費千七百五十万円をかけて建設。深田構造改善センターは昨年十一月に着工し、面積百八平方メートルで事業費は千五万円。両センターとも木造平家



深田構造改善センター

建てで、地区の集落環境整備事業として建設されたものです。

梶之浦東区では三月八日に、深田区では十五日にそれぞれのセンターにおいて落成式がありました。両区とも長年の懸案であった地区住民の「集いの場」の完成とあつて、出席者一同大変喜んでいました。



報徳学園(兵庫)が大会新で優勝

小林2位、県勢では阿久根農が10位

—阿久根市長旗九州選抜高校駅伝—



小雨の中を—丸となって力走する選手たち(1区)



1位でゴールする報徳学園

第二回阿久根市長旗九州選抜高校駅伝競争大会が三月二十九日、市陸上競技場を発着点に七区間42・195kmで行われました。

九州各県から全国的にも有名な小林高校、大牟田高校など十五校が参加したのに加え、今回は市制施行四十周年記念として兵庫県から報徳学園高校、西脇工業高校が特別招待され、計十七チームにより白熱したレースが展開されました。

レースは終始、報徳と小林がハイペースで競り合い、決着はゴールの陸上競技場まで持ちこされましたが、残り二百メートルで報徳が小林を振り切り、2時間8分45秒の大会新で初優勝を飾りました。小林は六秒差の2時間8分51秒(大会新)で2位。3位には西脇工が入りました。

地元期待の阿久根農は、県内勢四校のうちの最上位10位に食い込む健闘を見せてくれました。当日は雨にたたられたものの、沿道には多くの駅伝ファンらがつめかけ、阿久根路を力走する選手に熱い声援を送っていました。

成績は次のとおりです。

①報徳学園(兵庫) ②小林(宮崎) ③西脇工(兵庫) ④九州学院(熊本) ⑤西海学園(長崎)



健闘した阿久根農高(3区中継点)



阿久根市長旗が報徳学園へ

⑥鎮西(熊本) ⑦大牟田(福岡) ⑧鶴崎工(大分) ⑨白石(佐賀) ⑩阿久根農(鹿児島) 2時間14分28秒 ⑪れいめい(鹿児島) ⑫鳥栖工(佐賀) ⑬九州国際大附(福岡) ⑭鹿実(鹿児島) ⑮鹿商工(鹿児島) ⑯中津商(大分) ⑰沖繩尚学(沖縄)

雨の中、熱戦を展開!

阿久根小ソフトが3位

第二回九州小学生選抜男子・女子ソフトボール大会が三月二十八日、二十九日の両日、市ソフトボール場などで開催されました。

完成したばかりの多目的雨天屋内運動場で開かれた開会式に



は、沖縄を含む九州各県から男女の強豪二十四チームが参加。父母らの見守る中、堂々の入場行進が行われた後、地元を代表して阿久根小ソフトボール少年団の坂元庄吾君が、「イワシとボタンのまら阿久根へようこそ。練習の成果を発揮し、小学生らしく正々堂々と試合をしましょう」と歓迎の言葉を述べました。

結果は悪天候のため、男子は上位四チーム、女子は上位二チームで、抽選による優勝決定となり、男子は葉山ロイヤルズ(長崎)が、女子は潮見女子ソフトボール少年団(宮崎)が優勝しました。また、阿久根小ソフトボール少年団は三位となりました。

九州小学生選抜
ソフトボール大会



3位に入賞した阿久根小ソフト少年団

タンゴ芸術を鑑賞

アルフレッド・ハウゼ
オーケストラ演奏会

世界的にも有名なドイツのアルフレッド・ハウゼ・タンゴオーケストラの演奏会が三月十一日、市民会館大ホールであり、

夢や決意を発表

大林区で二分の一成人式と立志式

大林区で3月8日、子ども会主催による「二分の一成人式と立志式」が開かれ、5人の児童・生徒らが将来の夢などを発表。出席者から祝福を受けました。同区公民館で行われた式には、子どもたちとその父母ら約30人が出席。対象者は「将来看護婦さんになりたい」「勉強と部活動を両立させたい」など、将来になりたい職業や努力目標を述べ、決意を新たにしていました。



約千人の聴衆がタンゴの魅力に酔いしれました。当日は開場前に約五百人の行列ができるなど、市民の関心と人気が高さが伺われました。

演奏はコンチネンタル・タンゴ「黒い瞳」でオーブニンング。「ラ・クンバルシータ」や「タンゴ好きのお嬢さん」、バラードで「イエスタデイ」など二十五曲を次々と演奏。美しいメロディと独特なリズムで、タンゴ芸術の醍醐味を存分に味あわせてくれました。

アンコールでは指揮者のリンチフェラーさんがこの日のために用意された阿久根市のハッピーを



市民会館での演奏会

着用して演奏を指揮。会場全体をなごやかな雰囲気がいっみ込み、いつまでもアンコールの拍手が鳴り響いていました。

みんなの



行事・催し物など
お寄せ下さい。

臨本剣道スホーフ少年団が三月一日、臨本小体育館で親子剣道大会を開き、父母らの珍妙な

子供たちに白旗3本!

臨本剣道少年団が親子試合

竹刀さばきに歓声と爆笑がわきまわした。

し、父母らは慣れない防具を身にまとい、少しへっぴり腰で対



和気あいあいと試合が続きました

戦。試合開始後すぐに続けて三本打ち込まれる親もあり、日頃の威厳もこの日ばかりはどこかへ。子どもたちも審判の旗が挙げられ一本取るごとに、場内から笑いがわいていました。

この日は少年団のOBもかけつけ、親たちが防具を付けるのを手伝っていました。



一斉に糸を垂らす児童たち

プールでニジマス釣りを楽しむ

鶴川内小

鶴川内小学校で三月十四日、児童らが校内のプールでニジマス釣りを楽しみました。

最近、学校近くの川で魚が釣れなくなったのがきっかけで、二年前からプールにニジマスを放流、子どもたちに魚つりの楽しさを味わってもらおうというものです。

昨年十月に購入した三百匹の幼魚は、今では十五〜二十センチに成長。児童らが手製のさおにえきをつけて糸を垂らすと、しばらくして強い手ごたえが、獲物があるたびに歓声がわいていました。

残りは川釣りができるようにと、高松川へ放流する予定です。

400点の力作が集まる

—— 高齢者創作文化展 ——

阿久根ロータリークラブ主催による高齢者創作文化展が3月7日と8日の両日、市民体育館で開催されました。

高齢者の方に作品の発表の場を提供し、生きがいづくりと仲間づくりを目的に初めて開催されたもの。会場には書道や絵画をはじめ、貝がらを使った工芸品、仏像などの木彫り、盆栽、パッチワーク、ちぎり絵など、日頃丹精込めて制作した約400点の作品が並べられ来場者の目を楽しませていました。



保育実習を体験

—— 大川中女子生徒 ——

大川中の女子生徒18名が3月5日、学校の隣にある大川保育所で、自分たちで考えたゲームなどで園児らと楽しく交歓、保育実習を体験しました。家庭科の授業の一環として行われたもので女子生徒らは班ごとに作成したおもちゃや小道具を使い、園児らの興味をわかせて約1時間、楽しく交流しました。手製のおもちゃ等は園児らにプレゼントされ、喜ばれていました。



市職員 の異動

4月1日付

(一)は前職 ○印は昇格者

課長級18名

課長補佐級15名

▼電算課長(環境保健課長)有田健三▼会計課長(福祉事務所)磯畑節夫▼市民課長兼大川出張所長(選挙管理委員会事務局長)大毛健一郎▼税務課長(市民課長兼大川出張所)上村光基▼商工観光課長(国民宿舎支配人)小原勲▼農政課長(会計課長)村山好弘▼土地改良課長(建設課技術補佐兼建設係長)○東園香南▼環境保健課長(電算課長)末吉昇▼建設課長(税務課長)桑原祐示▼都市計画課長(農政課長)宇都裕喜▼福祉事務所長(商工観光課長)馬見新純▼保育所長(大川診療所)長補佐兼管理係長)○花田達朗▼国民宿舎支配人(総務課長補佐兼職員係長)○若松好房▼三笠支所長(保育所長)頼田幸吉▼農業委員会事務局長(図書館長)亀沢義和▼選挙管理委員会事務局長(財政課長補佐兼財政係長)○久保勝輔▼図書館長(土地改良課長補佐兼管理係長)○鳥飼光明▼総務課参事

(土地改良課長) 高永秋義

▼総務課長補佐兼職員係長(企画課長補佐兼企画開発係長)川畑裕▼財政課長補佐兼財政係長(同課管財係長)○富永勉▼企画課長補佐兼企画開発係長(教育委員会庶務課長補佐兼庶務係長)池田真一▼税務課長補佐兼課係長(同課長補佐兼管理係長)新橋修平▼商工観光課長補佐兼商工係長(同課同係長)○濱崎國治▼土地改良課長補佐兼管理係長(福祉事務所保護係長)○佐藤公臣▼土地改良課技術補佐兼国土調査係長(同課主幹兼国土調査係長)谷口幸男▼環境保健課長補佐兼環境保全係長(市民課主幹兼国民年金係長)田島貞夫▼建設課長補佐兼管理係長(税務課課長補佐)○鮫島善光▼建設課技術補佐兼建設係長(同課主幹兼維持係長)橋口和雄▼教育委員会庶務課長補佐兼庶務係長(建設課長補佐兼管理係長)鳥飼公貴▼教育委員会社会教育課長補佐兼社会教育係長兼文化係長(同委員会同課同

係長兼同係長)○高濱哲美▼市民課主幹兼国民年金係長(同課参事補)高濱敏▼建設課参事補(土地改良課参事補)梶弘昭▼福祉事務所参事補(教育委員会学校教育課参事補)松永泰子

係長級6名

▼財政課管財係長(福祉事務所)○山下健一▼税務課管理係長(市民課)○川畑悦夫▼土地改良課耕地係長(農政課)○佐瀨和則▼建設課維持係長(同課)○西田毅▼福祉事務所保護係長(同所)○佐瀨公人▼大川診療所管理係長(都市計画課)○川畑洋一

一般職31名

▼総務課(税務課)奥平和夫▼市民課(税務課)川原かつよ▼税務課(阿久根地区消防組合)大尾諭▼同課(大川出張所)川畑美恵子▼同課(農業委員会)黒川佳代子▼商工観光課(福祉事務所)佐瀨富士男▼農政課(都市計画課)馬見塚徹雄▼土地改良課(建設課)長谷川勉▼建設課(税務課)佐瀨順海▼同課(土地改良課)上野正順▼同課(都市計画課)濱崎久朗▼都市計画課(建設課)梅田裕一郎▼同課(建設課)中原一喜▼福祉事務所(建設課)内園由幸▼同所(商工観光課)早瀬則浩▼大川出張所(税務課)寺地波津

子▼折多保育所主任(赤瀬川児童館主任)西田幸子▼臨本保育所主任(折多保育所主任)寺地タツ子▼赤瀬川児童館主任(臨本保育所主任)吉松美津子▼大川保育所(臨本保育所)永田晴子▼臨本保育所(黒之浜児童館)石原ひとみ▼牛之浜児童館(大川保育所)西園めり子▼黒之浜児童館(牛之浜児童館)吉賀法子▼議会事務局(商工観光課)尾上美枝子▼農業委員会(市民課)平木スミ子▼教育委員会学校教育課(議会事務局)久木山久代▼山下小学校(阿久根小学校)當房和恵▼阿久根中学校(山下小学校)川路千鶴子▼阿久根小学校(阿久根中学校)牛之浜ひで子▼同小学校(鶴川内小学校)内野里子▼臨本小学校(三笠中学校)窪田リエ

新規採用13名 (一)は配属課等

▼寺地英兼(市民課)▼中尾隆樹(同課)▼寺地克己(税務課)▼大尾恵(商工観光課)▼新町勝利(農政課)▼花田伸行(土地改良課)▼下澤克宏(都市計画課)▼早水英行(福祉事務所)▼羽田里美(鶴川内児童館)▼栗林鉄矢(鶴川内小学校)▼谷口剛(阿久根地区消防組合)▼牛之濱倫久(同組合)▼坂元浩徳(同組合)

県教委派遣

子▼折多保育所主任(赤瀬川児童館主任)西田幸子▼臨本保育所主任(折多保育所主任)寺地タツ子▼赤瀬川児童館主任(臨本保育所主任)吉松美津子▼大川保育所(臨本保育所)永田晴子▼臨本保育所(黒之浜児童館)石原ひとみ▼牛之浜児童館(大川保育所)西園めり子▼黒之浜児童館(牛之浜児童館)吉賀法子▼議会事務局(商工観光課)尾上美枝子▼農業委員会(市民課)平木スミ子▼教育委員会学校教育課(議会事務局)久木山久代▼山下小学校(阿久根小学校)當房和恵▼阿久根中学校(山下小学校)川路千鶴子▼阿久根小学校(阿久根中学校)牛之浜ひで子▼同小学校(鶴川内小学校)内野里子▼臨本小学校(三笠中学校)窪田リエ

▼羽毛克規(教育委員会学校教育課長)▼岩切和良(同委員会社会教育課指導主事)▼定年退職者

濱田健二(建設課長)新町昭男(都市計画課長)寺地世界(農業委員会事務局長)園田昭夫(土地改良課技術補佐兼耕地係長)池脇忠志(市民課参事)中野妙子(農政課参事補)神川忠雄(鶴川内小学校参事補)佐瀨等(西目小学校主事)

相談

▼年 金(市役所)
4月20日(月) 10時~16時
5月20日(水) 。

▼税 金(商工会議所)
4月20日(月) 10時~15時
5月20日(水) 。

▼交通事故(市役所)
4月14日(水) 9時30分~16時
5月14日(水) 9時30分~16時



タンポポ

友だちの輪 ⑤9



遠矢区
梶原
中魚子
さん(22)

- 趣味 ドライブ、カラオケ
- 好きな言葉 いつも笑顔で
- 理想のタイプ 逢いたい時、いつも私の側にいて私を必要としてくれる人
- 思い出 私の泣き笑い人生 22年間
- 何か一言 私の名前は“うおこ”でも“ぎょこ”でもありません。ちゃんと覚えてネ。

※次の友だちを紹介してください。
梶原理恵さん
次はあなたの出番です。

図書館だより



今月の新着図書

▼植谷雄高「影絵の世界」▼安西水丸「十五歳のボート」▼長部日出雄「愉快な撮影隊」▼木村尚三郎「文明が漂う時」▼村上竜「イビサ」▼明石散人「宇宙の庭」▼高橋治「花と心に囲まれて」▼吉行淳之介「やややはなし」▼松村栄子「至高聖所（アバトーン）」▼村上政彦「青空」▼村上元三「紙の降る城」▼青野聡「遊平の旅」▼佐高信「日本に異議あり」▼宮部みゆき「今夜は眠れない」▼筒井康隆「文学部唯野教授の女性問答」▼半村良「夢見族の冒険」▼向井敏「開高健青春の闇」▼阿川佐和子「男は語る」▼ねじめ正一「近所ルネッサンス」▼青木雨彦「さいごの雨彦流」▼南原幹雄「灼熱の要塞」▼松浪和夫「エノラゲイ撃墜指令」▼神坂次郎「熊野御幸」

善意

寄贈相次ぐ

市立郷土資料館へ平成三年度中に次の方々から民具等の寄贈がありました。誠にありがとうございます。 (敬称略)

大石キオ・橋口菊蔵・森永則子・河南ミキ・浜之上訓衛・松永庄司・御手洗敦子・田代藤枝・松元三郎・浜崎蘭子・岩崎学・松下敏子

市立郷土資料館では郷土の貴重な資料が展示されています。気軽に立寄ってください。

阿久根短歌会

暖かき冬を逃かして冷ゆる春昏
 藍の今日寒き雨降る
 綿本 赤崎タエ
 一日のこと書き留むる父の朝日記をつけるたのしみを受く
 新町 遠矢 津
 少年期の蘇る花やぶ椿昔のままにこの丘に見つ
 上野 河南誠一郎
 ゆくりなくみちのくの旅の案内書今亡き夫の手箱より出づ
 大丸 橋崎 幸
 入海の傍の散歩道行けば鳥驚きふいに飛び立つ
 綿本 土田芙蓉子
 ウイルスに侵されながらひたすらに生を支ふる肝に手を当つ
 赤瀬川 海平三蔵
 古いぬれど尚も心をひきしめて今日も弓引く氣力をもちて
 赤瀬川 新坂 邦
 繁栄も夢となりたる宿跡に古木をめぐる風の音聞く
 琴平 川畑スミ
 ひびの入りし小さき湯呑み捨てがたく母の形見と思ひつつ飲む
 藤本 宮原範子
 小学生われに国語の授業させし荒武静雄先生つつがなきしか
 愛媛 小島幸太郎

市立図書館利用案内

開館時間 午前9時～午後5時
 休館日 月曜日(第3日曜日の翌日は除く) 第3日曜日、祝日
 貸出冊数 1人3冊以内
 貸出期間 10日間
 ※貸し出しは無料です。
 ※予約、リクエストを受け付けます。

平成4年度働く婦人の家前期講座のご案内
 ～たくさんのご応募をお待ちしております～

ワープロ初級 (10名)
 基本操作から簡単な文書作成まで
 月・木曜日(6月のみ) 14:00～16:00 10回

家庭料理 (25名)
 おなじみの材料でひと工夫してみては？
 金曜日 10:00～12:00 15回

ワープロ初級 (10名)
 基本操作から簡単な文書作成まで
 月・木曜日(6月のみ) 19:00～21:00 10回

クッキング (25名)
 バランスのよい食事を楽しく料理
 火曜日 19:00～21:00 15回

女性講座 (20名)
 スピードクッキング、楽しいメイキャップ他
 6月～11月 19:00～21:00 5回

平家物語 (20名)
 平家の栄枯盛衰を学んでみませんか
 木曜日 10:00～12:00 15回

フランス刺しゅう(初心者向き)(15名)
 すてきな糸のアートです
 水曜日 14:00～16:00 15回

着付け (15名)
 着物がもっと身近になります
 月曜日 19:00～21:00 15回

書道(初心者向き) (20名)
 習字の基礎から始めましょう
 金曜日 19:00～21:00 15回

さわやか講座 (20名)
 フォークダンス、レクリエーションなど
 5月～9月 10:00～12:00 5回

夏休みふれあい講座 (20名)
 レクリエーション、楽しい料理等
 夏休み期間 10:00～12:00 3回

昼

夜

短期

●募集期間 4月20日(月)～4月30日(木)

●募集要項

1. 開講期間……………5月下旬～10月
2. 受講できる人……………18才以上で市内在住か市内在勤の女性
3. 受講料……………無料(ただし材料費は実費負担)
4. 申し込み方法
 下記の要領で往復ハガキ又は電話で申し込んで下さい。
 (電話の場合は、後日ハガキ代をいただきます)
 (1) 希望講座名 第1希望・第2希望
 (2) 住所(区名)・氏名(ふりがな)・年齢・自宅の電話番号
 (3) 職業 有・無(有の場合は勤務先・電話番号)
 (4) 託児 有・無(有の場合は子供の名前[ふりがな]・生年月日)
 受講期間内は保母が託児をいたします。(ただし、満2才～学齢前)
 夜間は行いません。
5. 受講は1人1講座ですが、募集人員に満たない場合は重ねて受講できる場合もあります。
 ただし、短期講座は定期講座と重ねて受講することができます。
 応募者多数の場合は公開抽選を行います。5月1日(金)午前10時 働く婦人の家
6. 開講日等については、後日ハガキでお知らせします。

[お問い合わせは] 阿久根市働く婦人の家 ☎73-3769



夫婦揃って北海道へ行こう!!

『黒之浜昭和23年生まれ』

私たちは昭和二十三年に黒之浜で生まれ、今現在も黒之浜に在住して、共に漁業を天職として漁業に生き甲斐を感じているおじさんの集団です。

現在、メンバーは七名。幸か不幸か七名全員が焼酎と書かれたラベルを見ただけで眼光鋭く、顔はニンマリとなる温厚な性格です。



主な活動と言っても、年間を通しての飲み会と、その後のカラオケ（我々の活力源、栄養剤なので）で視察を深めるといった状況ですが、全員一家の大黒柱としての責務もしっかり感じ果たしています。

毎月積み立てをして年一回、子供たちが主役の一日バス旅行を開催し、また小・中学校、地

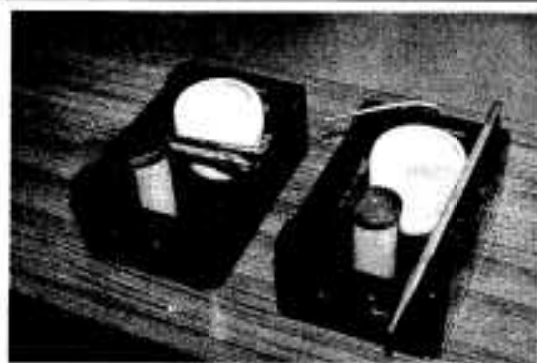
区の運動会の職域リレー等へも積極的に参加しています。そして現在、夫婦揃っての北海道旅行を夢見て計画を推進中です。

今後子供たちの成長につれ、目標とは成れずとも人生の先輩として小さな道標と成れたらと願っている親父七人組の小さな夢物語。これからも続けていきます。（代表者 富浜吉貞）

郷土資料館の展示資料紹介

たばこ盆

35



最初のたばこ盆は、平たい盆に、たばこ入・火入・灰落しにさせるを添えたものでした。それが移動や火入の灰が飛ばないように風腹を設けた箱形になりいろいろな趣向が加わってさまざまな形のものででききました。

近ごろ巻きたばこが普及し、さざみたばこが姿を消して、たばこ盆も使われなくなりました。

たばこ盆には個人用と客用があつて、客用は真塗りや蒔絵物、紫檀などの資材を使った高級品、一般向きとしては桑・松・杉・けやきなどの箱形でした。

普通、長四角（長方形）と真四角（正方形）で、長四角のものは縦が一六センチ前後、横が二二センチ前後、高さが八センチ前後で、真四角のものは縦横一七センチ前後、高さは八センチ前後となっています。

火入は陶器で、白磁・青磁・模様のもの壺形磁器で、直径が二〇センチ前後、高さが九センチ前後で、優れたものも使用されていました。

灰落しは、させるでたたくので竹製が普通で、直径が四センチ高さは一三センチ位標準のようでした。灰落しは盆の角に三角形や長方形で、中に竹が入る程の穴をあけて竹が倒れないようにした蓋付のものもありました。

たばこ盆は、香盆・香が・香箱・焚火入などから発展したものだともいわれます。

面会時間をお守りください

— 阿久根市民病院 —

出水郡医師会立阿久根市民病院では、面会時間を次のように定めています。

しかし最近、この面会時間を守られない方が多く、患者さんに対する処置等に支障をきたしています。また、非常口等の裏口から出入りする方もあり、保安上からも問題となっています。

面会時間について市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

▶面会時間 13時～15時
17時～20時

※ 病院内への出入りは正面玄関からお願いいたします。



誕生 おめでとう

出生児 保護者(区名) ※敬称略
 倉津 美紀 勝 志(倉津)
 折橋 宏樹 逸 朗(高之口)
 久保重利 義 満(牧内)
 坂上 達也 悟 (橋之西)

大野真友美 孝一(桐野下)
 原 明美 伸一(湯)
 椿 洋輔 博文(吉里)
 梶尾 岳史 哲也(橋之東)
 迫口優里香 健次郎(桐野下)
 石澤 健太 広行(大尾)
 猿楽あすか 誠(大丸)
 池脇 啓介 信 義(丸内)

○4月19日
 池上石油(新町) 020807
 阿久根石油(橋之西) 090389
 ○4月26日
 阿久根石油(港町) 032430
 高原石油(長谷) 022588
 ○5月3日

給油所の日曜当番店

社協だより

次の方々から市社会福祉協議会に香典返し等の寄付がありました。ありがとうございます。

築瀬石油(赤瀬川) 021093
 マルハ商事(橋之西) 050688
 ○5月10日
 阿久根石油(橋之西) 050389
 南国殖産(鶴見町) 020362
 ○5月17日
 折口石油(折口) 090251
 阿久根市農協(波留) 020075

浦カヤノ(黒之浜) 波留博美(上屋久町) 岩崎チカ(高之口) 浜崎市子(浜) 竹元忠国(湯) 陣尾次男(陣之尾) 大尾鉄彦(大尾) 松永千松(牛之浜) 洲崎国義(黒之浜) 富吉真理子(佐瀬) 中野良隆(箭田) 小濱サキ(中村) 黒水良文(黒之浜) ※篤志寄付

二人の匿名の方から寄付をいただきました。紙面を借りてお礼申し上げます。

▼雲仙、善賢岳災害義援金
 義援金総額(三月末日現在)
 百十九万九千九百十四円

いぬいふくを お祈りします

死亡者(区名) ※敬称略

前田 善吉88(羽田)カオ	大田 アイチヨ78(尻無下)正彦	九尾 シラ63(波留)満	白男川 アル88(横手)貞一	濱崎 馨62(浜)市子	岩崎 貞吉76(高之口)チカ	松永 アキ99(牛之浜)千松	黒水 房雄85(黒之浜)良文	松水 カンキク85(牛之浜)護	落 住盛91(落)幸男	竹元 キヨ76(湯)忠国	波留 フイ78(波留)博美	小園 春美63(尾原)通則	大田 クメ81(尻無中)健吉	倉光 美子80(田代中)隆男	倉津 長次郎71(倉津)ア	大渡 操74(大渡)友恵	竹原 源吉89(八郷)岩男	大尾 トミ71(大尾)鉄彦	陳尾 ハルキク93(陳之尾)次男	洲崎 チカ94(黒之浜)國義	増田 ニワ77(長野)エツ	中津 濱耕一65(大尾)須美子	小濱 三三81(中村)サキ	富吉 学53(佐瀬)真理子	森山 盛雄69(湯)ユミ	鶴瀬 アサキク94(橋本浜)健一	牛之浜 マキノ66(牛之浜)恒雄
---------------	------------------	--------------	----------------	-------------	----------------	----------------	----------------	-----------------	-------------	--------------	---------------	---------------	----------------	----------------	---------------	--------------	---------------	---------------	------------------	----------------	---------------	-----------------	---------------	---------------	--------------	------------------	------------------

訂正とおわび

赤十字社を通じて、被災者の方々に送られます。

3月号のごめいふくの欄で、福田様は福浦様の間違いでした。訂正してお詫びいたします。

福浦 利武61(黒之浜)カヤノ

篤志寄付

広報紙送付のお札にと、東京練馬区の寺地保さん(現在本市大川に在住)より広報紙送付のお札にと寄付をいただきました。ありがとうございます。

人口

4月1日現在 ()内は前月比

人口	28,130人	(-194)
男	13,021人	(-90)
女	15,106人	(-104)
世帯数	10,307戸	(-43)
出生	12人	死亡 29人
転入	211人	転出 391人



土地取引の前に届出を!!

国土利用計画法では、土地の投機的取引や地価の高騰を抑制し、乱開発を防ぐため、土地取引について届出制を設けています。

一定面積以上の土地の取引をしようとする場合は、あらかじめ（契約の前に）土地売買等届出書を土地の所在する市町村長を経由して県知事に提出し、利用目的及び取引の予定価格の審査を受けることとなっています。

なお、その結果は、市町村長が受理してから6週間以内に直接県から通知しますが、その通知を受け取るまでは契約を締結してはいけません。

▶届出の必要な取引(売買、交換、代物弁済等)

- 都市計画区域 5,000㎡以上
- 都市計画区域以外 10,000㎡以上

※個々の取引面積は小さくても合計した全体面積が基準以上となるような一団の土地取引は個々の取引それぞれについて届出が必要です。

▶届出をしなかったり、偽りの届出をすると6か月以下の懲役 または100万円以下の罰金に処せられることがあります。

詳しくは、市役所企画課まで
☎73-1211 (内)1231



市民会館に設けられたミニギャラリー

ふるさと地球運動 『地球の絵画』を募集中

地球を大切に作る気持ちを絵にしてみませんか?。青年会議所では「私たちの地球を考える」をテーマに、地球の環境、平和、現在、未来、願いなど自由な発想で描いた絵画を募集しています。

▶応募資格 小学生なら誰でも可

▶応募規定 画材は自由(クレパス、水彩絵具などその他自由)
A3の画用紙を使用してください。(約43cm×30cm)

▶応募締め切り 5月16日出まで

提出先及びお問い合わせは、阿久根青年会議所まで ☎73-3293

ミニギャラリーに あなたの自信作を!!

— 市民会館 —

阿久根市民会館の2階廊下にミニギャラリーをつくりました。これは市民の方が気軽に自分の作品を展示し、発表する場所として設けたものです。趣味やサークル活動等で作った作品(絵画、ちぎり絵、写真、書道、水墨画など)を発表したい方は、どしどし申し込んでください。
詳しくは市民会館まで。
☎73-1051

在宅医さん

日曜・祭日の在宅医さんの診察時間は午前9時から午後5時までです。急患の方以外はご連絡ください。

- 5月3日(憲法記念日)
- 上野医院 ☎0420(本町)
- 5月4日(振替休日)
- 阿久根内科医院☎0578(琴平町)
- 5月5日(こどもの日)
- 植村整形外科☎1041(段)
- 脇本病院 ☎2121(楊之西)
- 5月10日
- 有村産婦人科内科☎4180(栄町)
- 5月17日
- 上園医院 ☎1055(本町)
- 5月24日
- 内山病院 ☎1551(高松町)
- 大塚眼科 ☎0306(浜町)
- 5月31日
- 喜多医院 ☎0038(大丸町)

ワンちゃんのひきとり

5月6日・14日・26日
10時から10時30分まで
出水保健所から保健センターまでひきとりにきます

※保健センターの行事については、今月配布します「健康カレンダー」をご覧ください。

ホームステイの受け入れ家庭を募集

スポーツ少年団の日独同時交流がこの夏行われるのに伴い、ドイツ青年のホームステイ受け入れ家庭を募集します。

▼ホームステイ期間

8月3日(月)～6日(木)
うち2泊3日が家庭滞在

▼対象家庭

中・高校生がいる家庭

▼募集戸数 10戸程度

▼募集締め切り

6月10日(木)まで

▼言葉は英語で通じます。

国際交流を楽しむ良い機会です。

す。申し込み、問い合わせは市教育委員会社会体育課まで。
☎4649

税務嘱託員を募集

募集

市役所税務課では家屋調査嘱託員を募集しています。ご希望の方は応募してください。

▼業種 家屋調査嘱託員

▼募集人員 男子2名

▼年齢 65歳まで

▼資格 事務経験者に限り、待遇等詳細についての問い合わせ、申し込みは市役所税務課

固定資産係まで
☎211(内)1445

青年海外協力隊 春の募集

青年海外協力隊の春の募集説明会が次の会場で開催されます。
○5月21日(木) 18時30分～21時

川内市中央公民館
☎099627251
○5月22日(金) 18時30分～21時
鹿児島県自治会館
☎099221010

▼応募資格
満20才～39才までの男女
▼派遣地域

銃砲刀剣類登録審査

県教育委員会では、平成4年度銃砲刀剣登録事務を次のとおり実施します。

▶審査日
平成4年5月12日(火)
7月14日(火)
9月8日(火)
11月10日(火)
平成5年1月12日(火)

▶時間
10時～15時
(但し、12時～13時は休憩)

▶会場
自治会館(鹿児島市山下町)

▶持参品等
●登録しようとする銃砲刀剣類
●印鑑や登録手数料(1件5,200円)など
詳しくは、県教育庁文化課へ
☎0992 8111(内)3913

君がわが家

西村 宗



アジア・アフリカ・中近東・中南米・南太平洋地域等
▼派遣部門
農林水産・加工・保守操作・保健衛生・教育文化・スポーツの7部門(約150職種) 約1000名
▼詳細については次までお問い合わせください。
国際協力事業団九州支部
☎092(451)3380
県総務部国際交流課
☎0992(26)5446

編集後記

目標を立ててもなかなか一人では、実現へ向けての努力が続けられないもの。マグループ紹介で伺った「黒之浜二十三年生まれ」の皆さんは将来、夫婦揃っての旅行を実現すべく、グループみんなで積み立てを行っています。また、九州選抜高校駅伝に出場した選手の皆さんは、良きチームメイトに恵まれているからこそ、苦しい練習やレースに耐えられるのだと思います。仲間がいれば続けられるといった場合は多いはず。▽今年度、本市は市制施行四十周年。市民が手を取り合い、努力し続ける限り、次の時代への更なる発展があると考えます。

(貴)